

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.14 20:00~21:15)

会場(千代川町自治会館)

テーマ(通学路の安全対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	通学路である川関小林線は、狭い上に交通量が多い。30キロ規制を警察に依頼したが、スピード制限だけでは効果がないとの回答である。一方通行にするのも難しい状況である。		総務文教 産業建設			
2	通学時間帯、携帯電話を触りながら片手ハンドルで運転している若いドライバーが多い。モラルの問題だが、取締まりをしてほしい。	自治会から警察に取締まりを依頼したら、対応いただけると考える。	総務文教			
3	川東方面から来て月読橋を通り、国道9号を右折し、八木方面に行く車が多い。赤信号になってから曲がる車も多く危険。右折レーンを整備してほしい。	大きい問題なので、これからも要望を続けていく必要がある。	産業建設			
4	南丹市でゾーン30が導入された。もっと交通量の多い本市でなぜできないのか。通学路の30キロ規制を望む。	篠町のゾーン30では、制限速度内で走る車は実際は少ないが、以前よりは数キロ減となった。警察が取締りをする事でようやく効果があがっている。要望の声は何度でも徹底して警察に伝えなければならない。	総務文教			
5	川関小林線の隣などに、新しく通学路をつくってほしい。	PTAと保護者の見解が異なることもある。PTAがこちらの通学路を通るように言っても、保護者は人の多いところを通らせたくないということもある。地元住民の幅広い合意形成が必要であり、大人・子ども・保護者・近隣住民を含めて相談し、1つの答えを出していく必要がある。	総務文教 産業建設			
6	通学でJRの今津踏切を渡るが、危険である。警察官が誘導してほしい。地下道を設けることなども考えていただきたい。	踏切事故の話も聞く。拡幅されたのはよいが、交通量も増えたとも聞く。産業建設常任委員会で意見を共有していきたい。以前、並河駅が新しくなった時、住民がJRに陳情し、地下道が設置された。自治会長に任せるだけでなく、皆でJRなどいろいろなところに生の声を届けることも大事である。	総務文教 産業建設			
7	川関小林線が一番危ない。篠の事故の教訓をなぜ他に生かさないのか。何か起きてからでは遅い。早めに対策を講じるべきである。速度制限など強力に取組みを。	道路の改善は難しい。別のルートも検討すべきだと感じている。	総務文教 産業建設			
8	平成29年~30年に農道の拡張工事を検討している。日吉台の中にある市道につながるので、通学路にすることも考えられる。市道の認定をお願いしたい。	予算も考慮しながらではあるが、子どもの安全を最優先にすべきという考えの中で、地元の意見も聴き、できる方法はないか検討していかねばならない。	総務文教 産業建設			
9	車両進入禁止の看板の設置に感謝する。罰則はないものだが効果が期待される。まだまだ多くの危険箇所がある。声を出し続けることが大事だと考えている。	千代川町だけでなく、他の地域でも啓発の看板が設置されたと聞く。地域要望で設置されたものだと考える。	総務文教 産業建設			

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.14 20:00~21:15)

会場(千代川町自治会館)

テーマ(通学路の安全対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
10	警察や公安委員会に対する対応が難しい。警察と地域との密接なつながりが無い。警察や公安委員会にどのような形でつなげていけばよいのが難しい。	特に公安委員会は対応が難しい。横断歩道を設置するように市が要求したが、1年半かかったこともある。	総務文教			
11	初めてわがまちトークに参加したが、千代川町のことを考えていただき、力強い言葉をいただき、よい場だと思った。通学路は危険なところが多く、自分の身は自分で守るよう子どもには言っているが、それでも危険な状態である。冒頭、携帯の話があったが、大人が見本となって子どものモラルを育てていかねばならない。	議員全員に対しての言葉である。それぞれの立場で受け止めていく。	総務文教 広報広聴			

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.17 20:00~21:45)

会場(東本梅町ふれあいセンター)

テーマ(東本梅町のまちづくりについて)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	保育所がなくなると若い世代が住まなくなる。東本梅保育所を存続してほしい。亀岡市全域から児童を受け入れてはどうか。		環境厚生			
2	以前から保育所統合の話があった。保育所がなくなると生活を圧迫する。適正規模とは何をもって判断するのか。市も園児数を増やす努力をしてほしい。保護者会でも保育所の魅力を発信したいと考えている。広域入所等についても考えてほしい。		環境厚生			
3	本梅保育所には駐車場用地が無く送迎も大変である。駐車場やグラウンドを整備し、通いたいと思えるような園をつくる統合であれば地域の未来が見える。人数が少ないというだけの理由での統合では未来が見えない。	皆さんが住むまちを、どうしていきたいかについて、地域でまとめていただければと思う。これまで、まちづくりを行政に任せてきたところがある。今後は、予算も限られ、人口も減少していることから、地域全体で取組むことが必要だと考える。農地、山、人の和をまちの財産として、生かしていきたい。	環境厚生			
4	空き家バンクについて、費用がかかることなどから登録していない人が多いと思う。助成金などの対策を考えてほしい。	東本梅町には魅力があり、若い人たちが住む要素がある。新規就農と空き家バンクを活用して、まちづくりをしていってはどうかと考える。活用できない様々な課題もあると思うが、地域で話し合い、解決しながら取組んでいきたい。	総務文教			
5	保育所がどうすれば存続できるのかは東本梅町の町民も考えないといけないが、亀岡市としてもどうすれば若い人が増え、存続できるのかを考えてほしい。もう少し時間的な猶予が必要である。		環境厚生			
6	東本梅町としては町おこしの関わりの中で知恵を絞っている。しかし、保育所はまちおこしのためにあるわけではない。まちおこしとは別に保育園問題を考えてほしい。	公立保育所は、民間ができないところをカバーしていくべきだと思う。人数が少ないから統合ということではなく、増やすためにはどうすればよいかを考えていくべきである。	環境厚生			
7	第4次亀岡市総合計画と今回の統廃合方針は逆方向ではないか。将来を担う子どもをどう育てていくかを考えていかなければ、周辺部から急速に廃れていくと思う。	保育所を存続することについては、亀岡市がこの地域でどのように子どもたちを育むのかという点と、どのように人口を増やしていくかという点にかかっている。保護者、地域の声を市がどう受け止めるかが一番重要である。地域の皆さんの声を、大きくしていくことが必要だと考える。	環境厚生			
8	保育所を残してほしいという思いがあるが、住民が納得できるような話し合いにならない。計画により公共施設を整理されると思うが、JR駅周辺とは違い、周辺部はさらに不便になる。どうすればよいか、その方法を教えてほしい。	子どもを増やすことは、行政がどのような施策をとるかにかかっている。それを地域と一緒に考えていくことが必要である。また、地域で課題を共有して、市民力、地域力を上げ、真剣にまちづくりをしていくことが大事である。	環境厚生			

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.18 20:00~21:34)

会場(畑野町公民館)

テーマ(地域こん談会の内容についての意見交換)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	高齢化が進む中、乗合自動車・無料バスの運行について当町でも検討したいと考えている。H28. 6月から東別院町で実施されている無料バス運行が6カ月経過した中で、課題は明らかとなっているか。市議会としてどのように捉えているのか。	議会では、公共交通対策特別委員会を設置しているが、その効果の検証にはまだ至っていない。東別院町における取組みの導入時には、地元の運転による事故対応・安全面、行政の支援のあり方等を課題として議論した経過はある。	公共交通			
2	東別院町での効果を検証し、地域主体のデマンド交通等に係る課題(事故対応・安全面等)をクリアして、各町に広げられるよう、早急に検討を進めていただきたい。	執行部に効果の報告を求め、議会として検証した上で、その結果をお知らせしたい。	公共交通			
3	畑野町では、交通手段の確保が大きな課題である。土ヶ畑では、土休日では午後からしかバスの便がなく、帰りの便もないことから大変不便である。また、バス停まで行けない人も多い。福祉タクシーにかわる手段も必要である。	本日の意見を参考に、東別院町の検証を踏まえた中で、当町における公共交通のあり方を考えていきたい。	公共交通			
4	他自治体では自宅から公共施設・商店・医療機関・金融機関等へ定額で利用できるタクシーサービス等を運用されており、その利用者も大変多いと聞いている。そのような制度についても検討願いたい。(岡山県和気町の事例「和気あいあいタクシー」紹介)	和気町の事例も学びたい。タクシー会社との連携や買い物バスの事例、また、南丹市で実施されているような公共交通と福祉サービスが抱き合わせた事例等、色々工夫された事例があることから、それらを研究し、地域に合った方策をともに考えていきたい。	公共交通			
5	京丹後市では市営のデマンドバスが運行されていると聞けが、そのように、本市行政においても周辺地域への支援を望んでいる。	東別院町の取組みの効果の検証と合わせ、行政としてどのような施策がとれるか、議論していきたい。地域の事情にあった公共交通のあり方を考える必要がある。	公共交通			
6	倒木等の対応に係り、別荘等の所有者に連絡がとれず困っている。自治会で所有者を特定できるような権限を条例により付与してほしい。	宅地等の形状であれば、環境保全担当部署で対応しているが、山林の方では対応できていない。当町ではそのような地域の課題があることを受け止める。	環境厚生 産業建設			
7	①宅地においても、倒木等の危険があるので、市職員に来てもらったが、伐採の方法を教わっただけだった。それが現状である。自ら伐採することは困難である。 ②せめて道路に面したところなど、市で一定の基準に基づき判断されたものについては、強制力を発揮できるような条例が必要である。	①宅地の保全に係っては条例を設けており、それに基づいて、調査等を行っている。 ②所有者の財産であり、行政としても手の出しづらいところである。法の範囲を超えることはできないことから難しい問題である。	環境厚生 産業建設			
8	他市では、空き家管理条例で市長に調査権を持たせているような規制も見受けられる。亀岡市でもそのようなことができないか。	本市においても、空き地の管理に関しては条例、要綱を設けているが、市街化区域が対象となっている。課題に関しては、議員としてしっかりと認識し、取組んでいかなければならない。	総務文教			

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.18 20:00~21:34)

会場(畑野町公民館)

テーマ(地域こん談会の内容についての意見交換)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
9	畑野町における都市計画区域指定のあり方について (参加者間で意見交換)	地域全体の問題として、自治会としてよく話し合って方向性を出していただきたい。なお、東・西別院町、西部4町は、都市計画区域外となっている。	産業建設			
10	スタジアム建設に係り、以前、西京極球場では自転車で応援に行く人が多かったが、近隣からの苦情により制限され、応援者が減った経過がある。道路交通等の課題に関して十分に調査してほしい。	議会では特別委員会を設置して検討している。様々な問題点について、今議論しているところであり、いただいた意見を参考に、今後慎重に審査していきたい。	京都スタジアム(仮称)検討			
11	市立病院の経営赤字に関して、議会ではどのような議論をしているのか。	医師の確保が一番の課題となっている。環境厚生常任委員会では、この1年間、病院の経営改善をテーマに取り組んできた。病院では今、新改革プランを立てるところであり、今後も引き続き注視していきたい。	環境厚生			
12	亀岡駅前のイオン、西友の立体駐車場のアスベストに関して、指導はされないのか。		産業建設			
13	スタジアム誘致に関して、地下鉄をつなげるという計画を断念したと聞かすが、そういうことも検討し、提案できないものか。	将来に向けた参考の意見として受け止める。道路整備では、新丸太町線、洛西方面へつなげるトンネル化の提案もある。北陸新幹線誘致もあきらめていない。また、国道423号法貴バイパス等、スタジアム建設によって大きな公共事業が進んでいる。より推進できるよう要望していく。	産業建設			
14	スタジアム建設に対して、どの程度の利益があると見込んでいるか。	京都府が経営、管理する施設であり、その利益については見込んでいない。市としては、スタジアムを地域として活用し、賑わいが創出・持続されるよう、防災備蓄を含め、諸施設の整備等、京都府に対して多くの要望を行っている。	京都スタジアム(仮称)検討			